

コンプライアンス規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人浪曲親友協会（以下、「この法人」という。）の倫理規程の理念に則り、この法人が直面する、又は将来直面する可能性のあるコンプライアンス（法令等の遵守をいう。以下同じ。）上の問題を的確に管理・処理し、もってその事業活動の公正かつ適正な運営に資するための組織及びコンプライアンス施策の実施・運営の原則を定めることを目的とする。

(基本方針)

第2条 この法人の役員（理事・監事）及び正会員（以下「役職員」という。）は、前条の倫理規程の内容を真摯に受け止め、事業活動の業務遂行に際してはコンプライアンスを最優先する。

(組織)

第3条 この法人のコンプライアンスにかかわる組織として以下のものを置く。

- (1) コンプライアンス担当理事（理事・事務局長が兼任する）
- (2) コンプライアンス委員会（この法人の理事会内に置く）

第4条 コンプライアンス担当理事は、常勤の理事の中から、理事会の決議により会長が任命する。コンプライアンス担当理事は、定期的に理事会に対し、この法人のコンプライアンスの状況について、報告するものとする。

2 コンプライアンス担当理事は、コンプライアンス全般にかかわる事項を所管し、コンプライアンスに関する各種施策の立案及び実施の責務を有する。

3 コンプライアンス担当理事の役割・権限は以下のとおりとする。

- (1) コンプライアンス施策の実施の最終責任者
- (2) コンプライアンス違反事例の対応の統括責任者

（コンプライアンス委員会）

第5条 コンプライアンス委員会は、コンプライアンス担当理事の諮問機関として設置し、以下の事項について、その諮問に答える。

- (1) コンプライアンス施策の検討と実施
- (2) コンプライアンス施策の実施状況のモニタリング
- (3) コンプライアンス違反事件についての分析・検討
- (4) コンプライアンス違反再発防止策の策定
- (5) その他、コンプライアンス担当理事が諮問した事項

2 コンプライアンス委員会は、会長を委員長とし、各役職員を委員として構成する。

3 コンプライアンス委員会事務局は事務局長とする。

（コンプライアンス委員会の開催）

第6条 コンプライアンス委員会は、定例委員会として、委員長の招集により、年2回開催する。

2 委員長は、必要があると認めるときは、臨時委員会をいつでも招集することができる。

(報告・連絡・相談ルート)

第8条 役職員は、コンプライアンス違反行為又はそのおそれがある行為を発見した場合は、速やかにコンプライアンス担当理事（事務局長）に報告する。コンプライアンス担当理事（事務局長）より会長に報告する。

2 会長は、前項の報告又は内部通報等でコンプライアンス違反行為又はそのおそれがある行為を知ったときは、直ちにその事実をコンプライアンス委員会に報告するとともに、事実関係の調査を行い、対応方針を検討し、理事会の承認を得て実施する。

3 役職員は、緊急の事態等の事由により、コンプライアンス担当理事（事務局長）を経由することができないときは、会長に直接、第1項の報告をすることができる。

(コンプライアンスのための教育)

第9条 この法人は、役職員に対してコンプライアンスに関する研修を行い、また、理事・監事はこの法人の倫理規程を含むこれらの事項について、定期的に研修を受けるものとする。

(改 廃)

第10条 この規程の改廃は、理事会の決議を経て行う。

附 則

この規程は、平成 27 年 6 月 18 日から施行する。(平成 27 年 6 月 18 日理事会議決)